

本日御協議いただく主な検討課題

資料4

<個別の検討課題>

1 県民誰もが意欲と能力に応じて活躍できる環境の整備

課題1：障がいの有無や年齢・性別・国籍等を問わず多様な人材が就労できる環境づくり

課題2：ライフスタイルや価値観の多様化に対応した働き方の改革

課題3：公共私連携に向けた多様な主体の育成

2 人生100年時代に対応した健康寿命の延伸

課題：ライフステージを通じた生活習慣の改善とその効果検証の仕組みづくり

3 医療・介護等提供体制の充実

課題1：高齢化等による医療需要の変化を見据えた医療提供体制の充実

課題2：多様化するニーズに応えられる介護・福祉の提供体制の確保

4 持続可能な地域コミュニティづくり（基盤形成・地域づくり研究会関連）

課題：世代間交流や支え合いが生まれる住民主体のコミュニティの形成

5 自然災害への備えの強化（基盤形成・地域づくり研究会関連）

課題：県民の防災意識の向上に向けた効果的な対策の検討・実施

<個別の検討課題の前提として御協議いただきたい事項>

- ・今回の検討課題は、人口減少下における「適応策」に関連。誰も経験したことのない人口減少社会・超高齢社会が到来するなかで、県民一人ひとりが「豊かさ」を感じられる地域社会を形成していくことが求められる。
- ・また、本県の持続的な発展のためには、移住者をはじめ多様な人材を惹きつける、魅力的なライフスタイルを提供できる地域社会像を発信していくことも同時に重要である。
- ・以上を踏まえ、①社会参加、②健康、③医療福祉のセーフティネット、④コミュニティが効果的に作用し合い、全ての人が地域、暮らし、生きがいと共に高め合う山形ならではの「地域共生社会」を実現するため、今後10年間で取り組んでいくべきことは何か。